

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]		現状値		目標		
		数値	年度	数値	年度	考え方
<b>◎主な指標</b>						
健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)の延伸(1年延伸)	男性	79.62	H27	1年延伸	H32	平均寿命と健康寿命の差を縮小することを目指し、平均寿命が1年以上伸びていることから、「1年延伸」を目標として設定する。
	女性	83.96	H27			
☆ 圏域間の健康寿命の差の縮小	男性	2.24年	H27	縮小	H32	健康寿命の最も長い圏域と最も短い圏域の差を縮小する。
	女性	1.11年				
☆ 健康への意識の向上(無関心層の減少)		13.2%	H28	減少	H34	現状よりも無関心層が減少することを目指す。
<b>1. 生活習慣病等の予防</b>						
<b>(1) 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上</b>						
<b>【県民意識の向上】</b>						
・ ほぼ毎日体重を測定する人の割合の増加	20歳以上男性	15.9%	H28	20%以上	H34	現計画の目標に達していないことから、目標を据え置く。
	20歳以上女性	23.8%		30%以上		
・ かかりつけ医をもつ人の割合の増加		71.2%	H28	増加	H34	現計画の目標を達成していることから数値目標は設定せず「増加」とする。
☆ かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局を持つ人の割合の増加		31.8%	H28	増加	H34	数値目標を設定せず現状値からの「増加」を目指す。
・ 健康・介護まちかど相談薬局設置数の増加		588軒	H29.6	800軒	H34	現計画の目標を達成していないことから、目標は据え置く。
☆ まちの保健室の相談者数の増加		39,907人	H28	増加	H34	数値目標を設定せず現状値からの「増加」を目指す。
・ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	30.7	H27	減少	H34	健康日本21(第2次)の目標をすでに達成しているため、「減少」とする。
	女性	11.7				
・ 脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	36.9	H27	減少	H34	
	女性	19.1				
・ 特定健診・特定保健指導の実施率の向上(40~74歳)		46.5%	H27	70%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
・ 特定保健指導の実施率の向上(40~74歳)		14.4%	H27	45%	H34	
・ メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少(県平均)		16.1%	H27	12%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。(H20値[該当者16%、予備群11.2%]の25%減)
・ メタボリックシンドロームの予備群の割合の減少(県平均)		9.9%	H27	9%	H34	
☆ 特定健診受診者のうち収縮期血圧が130mmHg以上の者の割合の減少(市町国保・協会けんぽ)	男性	44.6%	H25	減少	H34	基準となる国の計画等がないことから、数値目標は設定せず「減少」とする。(健康日本21(第2次)では「収縮期血圧の平均値の低下」(年齢40-89歳))
	女性	42.7%				
☆ 特定健診受診者のうちHbA1C該当者の割合の減少(市町国保・協会けんぽ)	男性	36.1%	H25	減少	H34	基準となる国の計画等がないことから、数値目標は設定せず「減少」とする。
	女性	37.8%				
☆ 糖尿病腎症重症化予防プログラムの実施保険者数(市町国保)		13市町	H28	41市町	H35	全市町での実施を目指す。
・ 糖尿病合併症(糖尿病による新規透析導入患者数)の減少		589人	H27	565人	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。(10年間で8%減、5年間で4%減)
・ 糖尿病有病者のうち治療を継続している人の割合の増加		63.8%	H28	75%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
・ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	男性	14.5%	H28	10%	H34	現計画の数値目標を達成できていないことから、目標設定を据え置く。
	女性	10.3%		5%		
☆ 健康づくりチャレンジ企業登録数		936社	H28	1,500社	H34	新県政推進重点プログラムの目標にあわせる。
・ 75歳未満のがんの年齢調整死亡率を全国平均より5%低い水準(10万人当たり)		75.3	H28	全国平均より5%低い水準	H34	兵庫県がん対策推進計画の目標設定にあわせる。
がん検診受診率の増加(40歳以上、子宮頸がんのみ20歳以上)	胃がん	35.9%	H28	50%	H34	「兵庫県がん対策推進計画」の目標にあわせる。
	肺がん	40.7%				
	大腸がん	39.8%				
	子宮頸がん	38.1%				
	乳がん	40.6%				

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]	現状値		目標		
	数値	年度	数値	年度	考え方
<b>(2) 食生活の改善</b>					
・ 1日あたりの食塩摂取量の減少(20歳以上)	9.6g	H28	8g	H34	健康日本21(第2次)にあわせる。
・ 1日あたりの野菜摂取量の増加(20歳以上)	284.4g	H28	350g	H34	健康日本21(第2次)にあわせる。
☆ 果物摂取量100g未満の人の割合の減少(20歳以上)	63.1%	H28	減少(50%)	H34	現状値の20%減とする。
☆ 朝食を食べる人の割合の増加 20歳代男性 20歳代女性	51.4% 69.2%	H27	57%以上 76%以上	H33 H33	兵庫県食育推進計画(第3次)にあわせる(現状値の10%増)。
☆ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日食べている人の割合の増加(20歳以上)	42.2%	H28	70%以上	H33	兵庫県食育推進計画(第3次)にあわせる(国食育計画と整合性を図る)。
毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加(1日1食以上、楽しく2人以上で食事を受けている人(20歳以上))	57%	H27	68%以上	H33	兵庫県食育推進計画(第3次)にあわせる。(現状値の20%増)
適正体重を維持している人の割合の増加 (20~60歳代の男性の肥満、女性のやせの減少) 男性 女性	29.0% 11.9%	H28	23.0% 10.0%	H34	現状値の20%減とする。
☆ 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の増加抑制	21.8%	H28	増加抑制(24%)	H34	現状値の10%増に留める。
・ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価・改善を実施している特定給食施設の割合の増加	65.5%	H28	68%	H34	特定給食施設のうち、児童福祉(53.3%⇒57%)、事業所(37%⇒40%)の栄養士配置率をあげる。
・ 栄養ケア・ステーションの設置数の増加	4箇所	H28	29カ所	H34	各市に1カ所設置する。
・ 食の健康協力店の増加	8,025店	H28	9,000店	H33	兵庫県食育推進計画(第3次)にあわせる(年間200店、年間55店増)。
☆ 食の健康協力店の取組内容の充実(栄養成分の表示)	2,945店	H28	3,200店	H33	
<b>(3) 運動習慣の定着</b>					
・ 日常生活における歩数の増加(20歳以上) 男性 女性	7,782歩 6,813歩	H28	9,000歩以上 8,500歩以上	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
・ 運動を継続している人の割合の増加(運動を行った日数) 週1回以上 週3回以上	62.0% 37.0%	H28	70% 40%	H33	兵庫県スポーツ推進計画の目標にあわせる。
☆ 日常生活のなかで体を動かすこと(歩く。そうじをする、子どもと遊ぶ等)を習慣化している人の割合	37.1%	H28	増加	H34	基準となる国の計画等がないことから、数値目標は設定せず「増加」とする。
☆ 住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加	101,903人	H27	150,000人	H31	「地域創生戦略」の目標値、目標年度にあわせる。
☆ 住民主体の介護予防に資する通いの場の箇所数	4,871箇所	H27	8,000箇所	H31	「地域創生戦略」の目標値、目標年度にあわせる。

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]		現状値		目標		
		数値	年度	数値	年度	考え方
<b>(4) たばこ対策の推進</b>						
・ 習慣的に喫煙している人の割合の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	全体	14.2%	H28	10%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定における計算方法にあわせて、目標設定を計算する。
	男性	24.8%		19%		
	女性	7.1%		4%		
・ 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識を持っている人の割合の増加	肺がん	83.5%	H28	90%	H34	現計画の数値目標をいずれも達成できていないことから、目標設定を据え置く。
	喘息	65.4%		80%		
	気管支炎	66.8%		80%		
	心臓病	46.9%		60%		
	脳卒中	50.3%		60%		
	胃かいよう	31.8%		50%		
	妊娠に関連した異常	75.9%		90%		
・ 禁煙指導を行う医療機関の割合の増加(ニコチン依存症管理料届出済医療機関)	全体	15.8%	H29.4	20%	H34	目標設定の時点(平成29年9月)における都道府県トップ(徳島県)の水準を目標値に設定する。
	病院	34.5%		44%		
	診療所	13.9%		16%		
・ 禁煙指導を行う薬局・薬剤師数の増加	薬局	937軒	H27.8	1,000軒	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
	薬剤師	1,738人		2,100人		
・ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	職場	24.8%	H28	0%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。ただし「飲食店」は新県政推進重点プログラムの目標設定にあわせる。
	飲食店	42.0%		0%	H32	
	行政機関	4.5%		0%	H34	
	医療機関	4.6%		0%		
	家庭	16.0%		3%		

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]		現状値		目標		考え方	
		数値	年度	数値	年度		
<b>(5) 次世代への健康づくり支援</b>							
<b>(母子保健の状況)</b>							
・ 全出生数中の低出生体重児の割合の減少		9.6%	H28	減少	H34	健やか親子21(第2次)の目標にあわせる。	
☆ 妊娠中の妊婦の喫煙率の減少		4.1%	H28	0%	H36		
☆ 育児期間中の両親の喫煙率の減少	父親	35.5%	H28	20%	H36		
	母親	6.3%	H28	4%			
・ 乳児のSIDS(乳幼児突然死症候群)の乳児死亡率の減少		11.5	H28	減少	H34		
・ 乳児の不慮の事故死亡率の減少		11.5	H28	減少	H34		
・ 乳児健診等において健診未受診児を含めた把握率の増加	乳児健診	99.4%	H27	100%	H36		
	1才6ヶ月児健診	99.7%		100%	H36		
	3歳児健診	100.1%		100%	H36		
・ 妊娠11週以下での妊娠届出率の増加		92.4%	H27	増加	H34		
・ 妊娠届出時に保健師等専門職が全数に健康相談を行う市町数の増加		27市町 65.9%	H27	100%	H36		
・ 妊婦への喫煙に関する指導を実施している市町数の増加		39市町 95.1%	H27	41市町 100%	H36		
・ 妊婦への飲酒に関する指導を実施している市町数の増加		39市町 95.1%	H27	41市町 100%	H36		
・ 新生児訪問または乳児家庭全戸訪問の実施率の増加		97.2%	H27	100%	H36		
・ 定期予防接種の接種率の増加	麻しん及び風しん第Ⅰ期	97.4%	H28	95%以上	H34		国指針の目標接種率とする。
	麻しん及び風しん第Ⅱ期	94.0%					
☆ 子育て世代包括支援センター(母子保健型)を設置する市町数の増加		21市町 51.2%	H29	41市町 100%	H31	「地域創生戦略」の目標にあわせる。	
・ スポーツをする子どもの増加(学校体育授業を除く、1日1時間以上) 【再掲】	小学生	50.3%	H28	90%	H33	兵庫県スポーツ推進計画の目標にあわせる。	
	中学生	78.4%					
	高校生	54.9%					
・ 未成年者の飲酒をなくす	中3男子	7.7%	H28	0%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。	
	高3男子	16.6%					
	中3女子	2.2%					
	高3女子	11.9%					
・ 未成年者の喫煙をなくす	中1男子	0.0%	H28	0%	H34		
	高3男子	2.0%					
	中1女子	0.1%					
	高3女子	3.1%					
・ 10歳代の性感染症患者数の減少(定点当たりの患者報告数)	性器クラミジア	72件	H28	減少	H34		
	淋菌感染症	22件					
・ 思春期保健対策に取り組む市町数の増加		27市町 65.9%	H27	41市町 100%	H36		
・ 10歳代の人工妊娠中絶率の減少(人口千人対)		3.7	H27	減少	H36		
<b>(6) 感染症その他の疾病予防</b>							
・ 予防接種を実施する人の割合の増加(インフルエンザ)		49.2%	H28	増加	H34		現状からの増加を目指す。
・ 家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加	手洗い	87.1%	H28	95%	H34		現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
	うがい	67.1%		89%			
	マスク	49.8%		59%			
	ワクチン接種	38.6%		48%			



次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]	現状値		目標			
	数値	年度	数値	年度	考え方	
<b>2. 歯及び口腔の健康づくり</b>						
<b>(1) 総合的な推進</b>						
・ 過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	55.7%	H28	65%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。	
・ かかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加	71.5%	H27	84%	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。	
・ 8020運動目標達成者割合の増加	40代	64.4%	H28	77%以上	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
	50代	80.1%		92%以上		
	60代	68.4%		73%以上		
	70代	48.0%		64%以上		
	80代	40.2%		42%以上		
・ 定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	28.4%	H27	30%以上	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。	
<b>(2) 次世代への支援</b>						
・ 3歳児のむし歯のない人の割合の増加	85.0%	H27	90%	H34	国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項における目標値にあわせる。	
・ 3歳児のむし歯のない人の割合が80%以上である市町数の増加	39市町 95.1%	H27	41市町	H34	歯と口腔保健の推進に関する基本的事項の目標値を超えていることから全市町とする。	
☆ 12歳児で歯肉に炎症所見を有する者の減少	4.2%	H28	3%	H34	国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」における目標値の割合とする(20%減)。	
・ 12歳児での一人平均むし歯数が1歯未満である市町数の増加	29市町 70.7%	H28	34市町	H34	第1次計画及び国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」における目標値も達していることから現行の1.2倍とする。	
・ 妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	39市町 95.1%	H28	41市町	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。	
<b>(3) 成人期の取組</b>						
・ 8020運動目標達成者割合の増加【再掲】	40代 50代	64.4% 80.1%	H28	77%以上 92%以上	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
<b>(4) 高齢期の取組</b>						
・ 8020運動目標達成者割合の増加【再掲】	60代 70代 80代	68.4% 48.0% 40.2%	H28	73%以上 64%以上 42%以上	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。
☆ 口腔機能の維持・向上(60歳代以上)における咀嚼良好者割合の増加	75.4%	H28	80%	H34	健康日本21(第2次)の目標設定にあわせる。	
<b>(5) 配慮を要する者への支援</b>						
・ 障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	73.8%	H29	90%	H34	国の「歯科口腔保険の推進に関する基本的事項」における目標にあわせる。	
・ 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	32.2%	H29	50%	H34	国の「歯科口腔保険の推進に関する基本的事項」における目標にあわせる。	

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]	現状値		目標		
	数値	年度	数値	年度	考え方
<b>3. こころの健康づくり</b>					
<b>(1) ライフステージに対応した取組</b>					
<b>(ア) 総合的な推進</b>					
・ 自殺者数の減少	942人	H28	年間800人	H34	兵庫県自殺対策計画の目標にあわせる。
<b>(イ) 次世代への支援</b>					
☆ 産後うつをチェックする市町数及びフォロー体制がある市町数	37市町 90.2%	H27	41市町	H36	健やか親子21(第2次)の目標にあわせる。
・ 5歳児発達相談を実施する市町数の増加	29市町 70.7%	H28	41市町	H36	健やか親子21(第2次)の目標にあわせる。
<b>(ウ) 青少年期の取組</b>					
・ ストレスがたくさんあったと感じる人の割合の減少(中1、中3、高3)	4.8%	H28	3.8%以下	H34	現状値から20%減を目指す。
・ 眠れないことが頻繁にある人の割合の減少(中1、中3、高3)	15.0%	H28	13%以下	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
・ 悩みがあった時に誰にも相談しない人の割合の減少(中1、中3、高3)	14.4%	H28	12%以下	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
<b>(エ) 成人期の取組</b>					
・ 悩み・苦勞・ストレス・不満などがあつたとき、相談できない人の割合の減少	4.0%	H27	3.2%以下	H34	現状値から20%減を目指す。
☆ 労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施率の向上(常時50人以上の労働者を使用する事業場)	83.3%	H29	増加	H34	基準となる国の計画等がないことから、数値目標は設定せず「増加」とする。
☆ メンタルヘルス対策に取り組むチャレンジ企業数の増加(カウンセラー派遣事業実施企業数)	83社	H28	140社/年	H34	新県政推進重点プログラムに合わせる。
☆ ワークライフバランス推進宣言企業数	1,424社	H28	2,400社	H33	新県政推進重点プログラムに合わせる。
・ 多量に飲酒する人の割合の減少	男性 5.3% 女性 2.6%	H28	1.8%以下 0.2%以下	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
<b>(オ) 高齢期の取組</b>					
・ 住民主体の介護予防に資する通いの場への参加者数の増加【再掲】	101,903人	H27	150,000人	H31	「地域創生戦略」の目標にあわせる。
・ 住民主体の介護予防に資する通いの場の箇所数【再掲】	4,871箇所	H27	8,000箇所	H31	「地域創生戦略」の目標にあわせる。
<b>(2) 認知症の予防・早期発見の推進</b>					
☆ 認知症相談医療機関の登録数の拡大	2,125箇所	H29	2,200箇所	H32	県老人福祉計画にあわせる。

次期計画の目標項目(案) 全136項目(うち新規33項目) [☆新規項目]	現状値		目標			
	数値	年度	数値	年度	考え方	
<b>4. 健康危機事案への対応</b>						
<b>(1) 災害時における健康確保対策</b>						
・ 災害時保健指導マニュアル策定市町数の増加	策定済 14市町 34.0% 策定中 9市町 22.0%	H28.12	41市町 100%	H34	全市町実施を目指す。	
・ 災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合の増加	61.7%	H27	75%以上	H33	食育推進計画(第3次)にあわせる。	
<b>(2) 食中毒の発生予防・拡大防止</b>						
・ 学校給食を原因とする食中毒の年間事件数を0件にする	0件	H28	0件	H33	食の安全安心推進計画(第3次)の目標にあわせる。	
・ 大量調理施設を原因とする食中毒の年間事件数を0件にする(学校給食を除く)	1件	H28	0件	H33	食の安全安心推進計画(第3次)の目標にあわせる。	
☆ 家庭における自然毒による食中毒の年間事件数を0件にする	4件	H28	0件	H33	食の安全安心推進計画(第3次)の目標にあわせる。	
<b>(3) 感染症の発生予防・拡大防止</b>						
・ 家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加【再掲】	手洗い	87.1%	H28	95%	H34	現計画の数値目標達成が未達成なことから、目標設定を据え置く。
	うがい	67.1%		89%		
	マスク	49.8%		59%		
	ワクチン接種	38.6%		48%		
・ 腸管出血性大腸菌感染症(0157)の集団発生をなくす	1件	H28	0件	H34	発生0件を目指す。	